

薬学科のディプロマ・ポリシー

おもに基礎科目を通して

- A. 化学物質の物理的性質を理解し、医薬品や生体分子の解析法を説明できる。
- B. 化学反応の理解に基づき、医薬品の合成法、機能や働きを説明できる。
- C. 自然が生み出す薬物について、起源、有効成分や薬効を説明できる。
- D. 生命体の成り立ちを、個体、器官、細胞、分子のレベルで理解している。
- E. 生体の機能調節や生体防御に関する基本的知識を身につけている。
- F. ヒトとその集団の健康維持や健康と化学物質、環境との関わりを理解している。

おもに臨床科目を通して

- G. 医療の担い手としてのこころ構えと倫理観を身につけている。
- H. 薬物の製剤化の意義と方法を理解し、投与形態や体内動態制御法を説明できる。
- I. 薬学研究や医療に関わる情報を、主体的に収集し、活用できる。
- J. 代表的な疾病とその薬物治療法について説明できる。
- K. 薬剤師を取り巻く法律と制度を理解し、社会保障制度を論じることができる。

おもに実習科目を通して

- L. 薬学分野の研究に必要な基本的実験技術に習熟している。
- M. 医療チームの一員として、医療の場で必要とされる薬剤師の役割を理解し果たすことができる。
- N. 医療薬学分野における課題を発見し、問題解決に取り組むことができる。
- O. 専門分野の英語で書かれた学術論文を読み解し、解説できる。
- P. 卒業研究を論文にまとめ、口頭発表し、討議できる。

薬科学科のディプロマ・ポリシー

おもに基礎科目を通して

- A. 化学物質の物理的性質を理解し、医薬品や生体分子の解析法を説明できる。
- B. 化学反応の理解に基づき、医薬品の合成法、機能や働きを説明できる。
- C. 自然が生み出す薬物について、起源、有効成分や薬効を説明できる。
- D. 生命体の成り立ちを、個体、器官、細胞、分子のレベルで理解している。
- E. 生体の機能調節や生体防御に関する基本的知識を身につけている。
- F. ヒトとその集団の健康維持や健康と化学物質、環境との関わりを理解している。
- G. 医薬品の探索から臨床試験に到る創薬過程を包括的に理解している。

おもに臨床科目を通して

- H. 医療の担い手としてのこころ構えと倫理観を身につけている。
- I. 薬物の製剤化の意義と方法を理解し、投与形態や体内動態制御法を説明できる。
- J. 薬学研究や医療に関わる情報を、主体的に収集し、活用できる。

おもに実習科目を通して

- K. 薬学分野の研究に必要な基本的実験技術に習熟している。
- L. 薬学分野における課題を発見し、問題解決に取り組むことができる。
- M. 専門分野の英語で書かれた学術論文を読み解し、解説できる。
- N. 卒業研究を論文にまとめ、口頭発表し、討議できる。